

いわき湯本病院 事務部 総務課 星 剛貴

功 績	新型コロナの影響により面会制限が続く中、ファミリーファーストをサイボウズ（院内スケジュール管理・承認ソフト）で申請できる仕組みをつくり、より多くのご家族に患者さんの院内での様子をタイムリーにお伝えすることができるようにした功績 1月 送信数（18家族：送信件数38件） 2月 送信数（102家族：送信件数260件）
推 薦 者	事務部 課長 大松沢 学
推 薦 理 由	患者さん・ご家族の笑顔のため、サイボウズのシステムを利用し、ファミリーファーストをタイムリーにより多くのご家族にお届けする仕組みをつくった星を理事長賞に推薦致します。

内 容

星は令和2年入職の2年目の職員です。総務課にて物品の管理のほか、前職では携帯電話会社の店長を務めていた経歴もあり、IT担当者のサポートやリモート面会の準備、コロナワクチン接種者の人数管理なども担ってくれています。

今回、星が担当しているファミリーファーストの文章送信において、退院した患者さんのもとに文章を送ってしまったという出来事がありました。星は、この出来事が起こったことを重く受け止め、改善の方法を考えました。要因として、看護職員やリハビリ職員が文章を作成してから自分の手元に届くまでタイムラグがあるためと考え、看護部や事務部職員と話し合いを重ね、サイボウズを利用した申請システムを考案しました。

これまでは、患者さんの様子を看護師やリハビリスタッフが手書きの文章で直属の上司（師長・主任）に提出し、それを部門長に提出。両部門長がディレクターに提出し、星に回って来るという流れでしたが、この流れを改善しなければ、面会制限で患者さんの様子を知りたいご家族に不利益になってしまう、サイボウズのシステムを利用すればスピーディーにご家族に近況をお届けできる、と思いサイボウズの中にファミリーファースト専用のシステムを入れ込みました。

更に星は患者さんの近況を知りたいご家族はもっているはずと、入院説明時に「是非ファミリーファーストをご利用ください」と入院説明担当者に伝えるようお願いし、また、現在ご利用されていないご家族にも声をかけ、2月からの入院患者さんの新規ご利用者は71名にものぼりました。新しいシステムは順調に稼動し、送信家族は102家族、送信件数は260件まで増え、その情報もタイムリーにお届けすることが出来るようになりました。

SMSでのサービスは専用ソフトもなく、すべて星が病院の携帯で入力し、かなり労力のいる作業となっていますが、患者さん・ご家族の笑顔のため、と嫌な顔もせず、自身の業務に取り組む星を理事長賞に推薦致します。